

ロシアの「新戦略兵器削減条約」(新 START)  
履行停止の発表に抗議する

2023年3月1日

核戦争に反対する医師の会 (反核医師の会)

ロシアのプーチン大統領は2月21日の「年次教書演説」において、米国との核軍縮条約「新戦略兵器削減条約 (新 START)」の履行停止を発表した。また、ロシア議会上下両院も22日に新 START の履行義務を停止する法案をそれぞれ可決し、プーチン氏の意向を承認した。

2022年2月24日にロシアがウクライナを侵略して以来、ロシアは戦争を有利に進めるために幾度となく核兵器の使用をほのめかし、国際社会を恫喝してきた。そのようにして諸外国をけん制しつつ、国連安保理の常任理事国自らが国際法を無視するという蛮行を1年に渡って続け、ウクライナの人々の命と暮らしを奪い、国際秩序を今も脅かしている。

そのような情勢にあつて、米露間に唯一残された核兵器削減の枠組みが新 START であり、その条約の履行を一方向的に停止することは、さらなる国際情勢の悪化と核戦争の緊張を高めかねないものであり、断じて容認できない。

プーチン大統領は演説において、米国を始めとした西側諸国の責任を強調し、ウクライナ侵攻、および新 START の履行停止を正当化する一方、新たな核兵器の開発のために核実験の準備を指示した。このことは、国連安保理常任理事国、そして核保有国としてあまりに無責任であり、NPT 条約第6条、核のない世界に向けての核兵器国の責務に違反するものである。

一方、同演説において、プーチン大統領は新 START から離脱はしないと宣言し、その後の外務省声明でも条約が規定する戦略核弾頭の量的制限を遵守する旨を発表した。一定の配慮を見せた形ではあるが、条約が形骸化してしまわないためにも、一刻も早く履行を再開し、核兵器の政治利用は終わらせなければならない。

平和を実現し、人々の命を守るためには、核兵器、軍事力による威嚇ではなく、話し合いによる協調こそが必要である。

私たち反核医師の会は、命と健康を守る医師・歯科医師の立場から、ロシア軍のウクライナからの即時撤退を強く求めると共に、今回の「新戦略兵器削減条約」(新 START) 履行停止の発表に抗議するものである。